

資料

首都圏整備に関する各種データ

- 1 人口の状況 100
 - 1-1 首都圏各地域の人口と人口増加率の状況
 - 1-2 首都圏における総人口に占める年齢3区分別人口割合の状況
 - 1-3 首都圏における65歳以上単身世帯の状況
 - 1-4 大都市圏における人口移動量（平成17年）
 - 1-5 業務核都市における人口の状況
 - 1-6 業務核都市における事業所数（民間）の状況
 - 1-7 業務核都市における従業者数（民間）の状況
- 2 活力創出に資する機能の状況 103
 - 2-1 事務所・店舗等床面積の推移
 - 2-2 事業所着工床面積の推移
 - 2-3 製造業の対全国シェアの推移
 - 2-4 ソフト系IT産業の市町村別事業所数
 - 2-5 各都県における主要農業・林業・水産業部門のシェア等
 - 2-6 大学・短期大学・大学院学生数の対全国シェアの推移
 - 2-7 社会人特別選抜による大学学部及び大学院への入学者
- 3 環境との共生 107
 - 3-1 二酸化窒素及び浮遊粒子状物質（SPM）の環境基準達成状況
 - 3-2 都市公園開園面積の推移
 - 3-3 緑地保全関連制度の指定状況
 - 3-4 首都圏における産業廃棄物の排出量及び全国のリサイクル率の推移
 - 3-5 首都圏における一般廃棄物の処理方法別の排出量及びリサイクル率の推移
 - 3-6 首都圏における一般廃棄物最終処分場の残余年数の推移
- 4 快適な居住空間の整備 109
 - 4-1 首都圏の利用関係別の新設住宅着工戸数の推移
 - 4-2 首都圏の地域別の新設住宅着工戸数の推移
 - 4-3 最低居住水準未満の世帯の割合
- 5 将来に引き継ぐ社会資本の整備 110
 - 5-1 首都圏における渋滞損失時間の推移
 - 5-2 東京圏主要鉄道路線における混雑時の平均混雑率等の推移
 - 5-3 首都圏と全国の貿易額の推移
 - 5-4 成田国際空港の輸出入貨物の背後圏
 - 5-5 首都圏における外貿コンテナ取扱貨物量と三大湾のシェア
 - 5-6 首都圏における各種電話の発信量
 - 5-7 東京湾岸地域の埋立の変遷

1 人口の状況

●1-1 首都圏各地域の人口と人口増加率の状況

	人口（千人）					人口増加率(%)			
	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	S60~H2	H2~7	H7~12	H12~17
全国	121,049	123,611	125,570	126,926	127,757	2.1	1.6	1.1	0.7
首都圏	37,618	39,396	40,402	41,322	42,372	4.7	2.6	2.3	2.5
東京都	11,829	11,856	11,774	12,064	12,571	0.2	-0.7	2.5	4.2
東京都区部	8,355	8,164	7,968	8,135	8,483	-2.3	-2.4	2.1	4.3
都心3区	325	266	244	268	326	-18.2	-8.4	10.0	21.5
近隣3県	18,444	19,941	20,803	21,354	21,901	8.1	4.3	2.6	2.6
周辺4県	7,345	7,600	7,825	7,904	7,900	3.5	3.0	1.0	-0.0

資料：「国勢調査」（総務省）により国土交通省国土計画局作成。ただし、平成17年数値は要計表による速報値

●1-2 首都圏における総人口に占める年齢3区分別人口割合の状況

（単位：％）

		昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
0～14歳人口	全国	23.5	21.5	18.2	15.9	14.6
	首都圏	23.7	21.1	17.3	15.0	13.8
	東京都	20.6	18.0	14.6	12.7	11.8
	近隣3県	25.7	22.6	18.1	15.6	14.3
	周辺4県	24.1	22.5	19.3	16.9	15.3
15～64歳人口	全国	67.3	68.2	69.5	69.4	67.9
	首都圏	68.7	70.2	72.3	72.6	71.1
	東京都	71.5	73.0	74.1	73.9	72.0
	近隣3県	67.8	69.9	72.9	73.5	72.0
	周辺4県	66.2	66.7	68.0	68.1	67.1
65歳以上人口	全国	9.1	10.3	12.0	14.5	17.3
	首都圏	7.5	8.6	10.0	12.2	15.0
	東京都	7.7	8.9	10.5	13.0	15.8
	近隣3県	6.5	7.5	8.8	10.8	13.6
	周辺4県	9.7	10.9	12.6	15.0	17.5

注：内訳の合計が100%とならないのは、数値の四捨五入の関係及び人口割合の分母である「総人口」に「年齢不詳」を含むことによる。

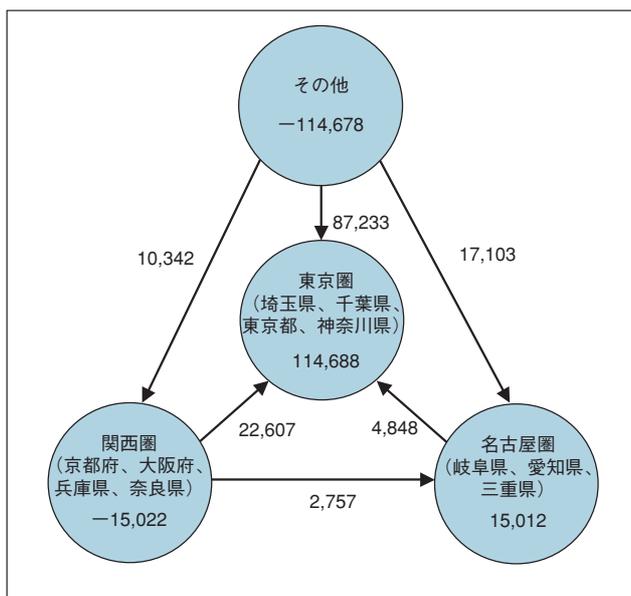
資料：「国勢調査」（総務省）により国土交通省国土計画局作成

●1-3 首都圏における65歳以上単身世帯の状況

		昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
65歳以上 単身世帯数 （単位：千世帯）	全国	881	1,181	1,623	2,202	3,032
	首都圏	209	286	414	594	881
	東京都	101	134	187	265	388
	近隣3県	71	102	157	234	362
	周辺4県	37	50	70	95	131
一般世帯総数 に占める割合 （単位：％）	全国	2.5	3.1	4.0	5.0	6.5
	首都圏	1.8	2.3	3.0	4.0	5.5
	東京都	2.4	3.0	4.0	5.3	7.2
	近隣3県	1.4	1.8	2.4	3.2	4.6
	周辺4県	1.9	2.4	3.1	3.8	4.9
65歳以上人口 に占める単身 者割合 （単位：％）	全国	8.3	9.5	10.9	12.1	13.8
	首都圏	7.8	8.8	10.5	12.0	14.2
	東京都	11.3	12.7	15.1	17.3	20.3
	近隣3県	6.4	7.4	9.0	10.4	12.5
	周辺4県	5.4	6.3	7.3	8.1	9.5

資料：「国勢調査」（総務省）により国土交通省国土計画局作成

●1-4 大都市圏における人口移動量（平成17年）



注：数字は転入者数と転出者数の差（人）を表す。

資料：「住民基本台帳人口移動報告」（総務省）により国土交通省国土計画局作成

●1-5 業務核都市における人口の状況

（単位：人）

	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
全国	117,060,396	121,048,923	123,611,167	125,570,246	126,925,843	127,756,815
首都圏	35,701,559	37,618,340	39,396,483	40,402,054	41,321,883	42,371,702
東京都区部	8,351,893	8,354,615	8,163,573	7,967,614	8,134,688	8,483,050
業務核都市計 ^{注1}	8,671,413	9,394,695	10,184,115	10,615,728	11,021,842	11,449,504
横浜市	2,773,674	2,992,926	3,220,331	3,307,136	3,426,651	3,579,133
川崎市	1,040,802	1,088,624	1,173,603	1,202,820	1,249,905	1,327,009
厚木市	145,392	175,600	197,283	208,627	217,369	222,349
町田市	295,405	321,188	349,050	360,525	377,494	404,798
相模原市 ^{注2}	469,053	517,083	570,172	612,308	646,802	667,683
八王子市	387,178	426,654	466,347	503,363	536,046	560,048
立川市	142,675	146,523	152,824	157,884	164,709	174,287
多摩市	95,248	122,135	144,489	148,113	145,862	145,887
青梅市	98,990	110,828	125,960	137,234	141,394	142,333
川越市	259,314	285,437	304,854	323,353	330,766	333,765
熊谷市 ^{注3}	168,429	177,869	187,968	192,523	192,527	191,109
さいたま市 ^{注4}	879,291	922,757	1,007,569	1,078,545	1,133,300	1,176,269
春日部市 ^{注5}	187,913	207,021	226,449	238,598	240,924	238,499
越谷市	223,241	253,479	285,259	298,253	308,307	315,782
柏市 ^{注6}	272,904	311,155	347,002	362,880	373,778	381,016
土浦市 ^{注7}	121,300	129,236	137,053	141,862	144,106	144,060
つくば市 ^{注8}	127,402	150,074	168,466	182,327	191,814	200,546
牛久市 ^{注9}	40,164	51,926	60,693	66,338	73,258	77,220
成田市 ^{注10}	85,897	95,049	105,855	112,662	116,898	121,150
千葉市	746,430	788,930	829,455	856,878	887,164	924,353
木更津市	110,711	120,201	123,433	123,499	122,768	122,208

注1：業務核都市（東京都市圏の広域連携拠点）に含まれる表中の市を対象とした。

市のデータは平成18年3月末現在の境域とし、市の一部が業務核都市に指定されている場合も、市全域のデータとした。

注2：相模原市には、津久井町及び相模湖町の数値を含む。

注3：熊谷市には、大里町（村）及び妻沼町の数値を含む。

注4：さいたま市には、浦和市、大宮市、与野市及び岩槻市の数値を含む。

注5：春日部市には、庄和町の数値を含む。

注6：柏市には、沼南町の数値を含む。

注7：土浦市には、新治村の数値を含む。

注8：つくば市には、大穂町、豊里町、谷田部町、桜村、筑波町及び荳崎町の数値を含む。

注9：牛久市には、牛久町の数値を含む。

注10：成田市には、下総町及び大栄町の数値を含む。

資料：「国勢調査」（総務省）により国土交通省国土計画局作成。ただし、平成17年数値は要計表による速報値

●1-6 業務核都市における事業所数（民営）の状況

（単位：事業所）

	昭和56年	昭和61年	平成3年	平成6年	平成8年	平成11年	平成13年	平成16年
全国	6,290,703	6,511,741	6,559,377	6,550,245	6,521,837	6,203,249	6,138,312	5,728,492
首都圏	1,842,741	1,932,041	1,960,650	1,966,943	1,970,027	1,870,648	1,860,928	1,738,656
東京都区部	656,769	657,499	634,114	629,367	620,959	580,531	577,545	538,602
業務核都市計 ^{注1}	342,922	372,777	395,301	400,025	406,599	387,210	385,438	362,142
横浜市	110,683	116,200	120,861	121,092	123,040	115,100	114,563	107,201
川崎市	42,162	44,124	46,275	46,691	45,942	43,255	42,023	41,249
厚木市	7,042	8,693	9,858	10,452	10,539	10,347	10,120	9,472
町田市	8,904	9,491	10,055	10,434	11,850	11,374	11,679	11,332
相模原市 ^{注2}	18,512	20,954	22,971	23,381	23,193	24,427	23,680	22,620
八王子市	14,489	15,667	16,580	16,947	19,205	18,281	18,620	17,709
立川市	7,543	7,834	7,564	7,352	7,410	7,045	7,345	7,225
多摩市	1,695	2,178	2,926	3,126	3,408	3,382	3,640	3,190
青梅市	4,301	4,723	4,946	5,005	5,187	4,872	5,074	4,804
川越市	10,079	11,107	11,560	11,599	11,398	10,914	11,094	10,241
熊谷市 ^{注3}	8,986	9,320	9,325	9,406	9,594	9,228	9,175	8,351
さいたま市 ^{注4}	34,777	38,765	41,895	42,711	43,424	41,130	41,021	36,769
春日部市 ^{注5}	6,746	8,366	8,807	8,902	9,056	8,681	8,599	7,690
越谷市	7,678	10,323	11,828	11,974	12,614	11,940	11,269	10,738
柏市 ^{注6}	9,096	10,227	11,735	11,830	11,869	11,433	11,112	10,360
土浦市 ^{注7}	7,305	7,801	7,916	7,905	7,960	7,402	7,222	6,737
つくば市 ^{注8}	4,853	5,854	6,316	6,522	7,296	7,051	7,080	6,953
牛久市 ^{注9}	1,189	1,374	1,574	1,830	2,114	2,178	2,380	2,422
成田市 ^{注10}	4,066	4,493	4,830	5,006	5,112	4,832	5,150	4,960
千葉市	27,305	29,442	31,690	31,980	30,834	29,157	29,290	27,195
木更津市	5,511	5,841	5,789	5,880	5,554	5,181	5,302	4,924

注：「1-5 業務核都市における人口の状況」の脚注を参照。

資料：「事業所・企業統計調査」（総務省）により国土交通省国土計画局作成

●1-7 業務核都市における従業者数（民営）の状況

（単位：人）

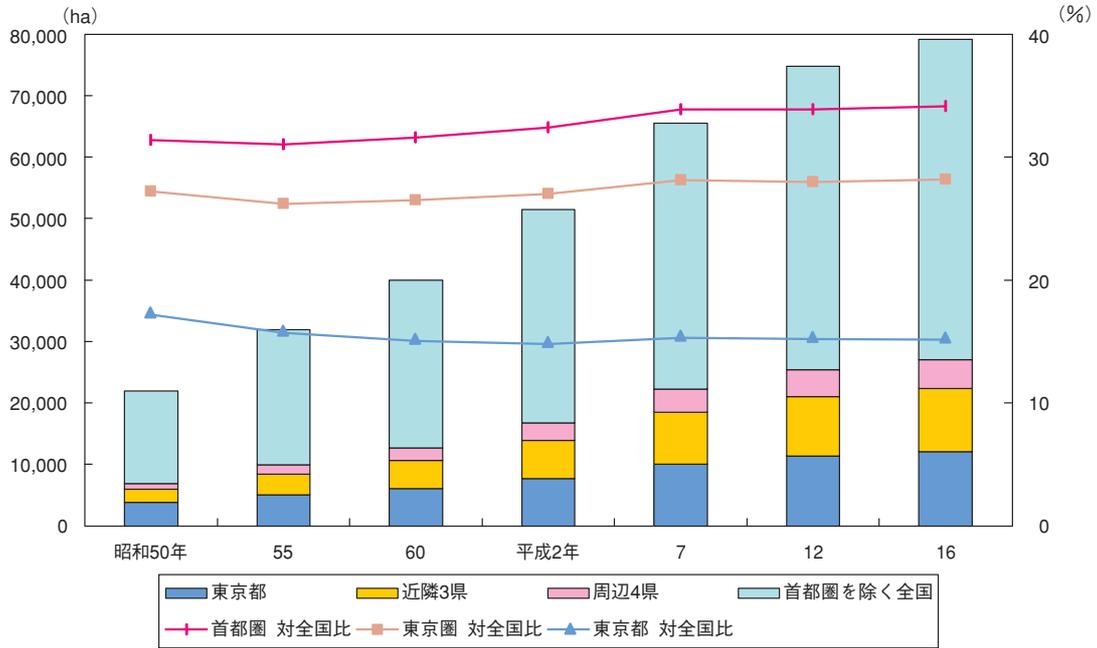
	昭和56年	昭和61年	平成3年	平成6年	平成8年	平成11年	平成13年	平成16年
全国	45,961,266	49,224,514	55,013,776	54,366,015	57,583,042	53,806,580	54,912,703	52,067,396
首都圏	14,783,621	16,358,753	18,663,626	18,318,707	19,505,813	18,079,172	18,798,365	17,953,460
東京都区部	5,983,740	6,312,581	6,964,640	6,570,661	7,040,196	6,319,406	6,711,510	6,456,600
業務核都市計 ^{注1}	2,848,248	3,300,975	3,941,751	3,986,999	4,243,621	4,001,919	4,123,418	3,936,883
横浜市	938,994	1,044,236	1,216,309	1,218,582	1,289,372	1,215,524	1,246,714	1,185,778
川崎市	414,872	454,355	505,168	499,269	504,118	468,140	464,655	447,983
厚木市	73,692	102,936	133,342	139,141	145,871	135,096	135,712	128,404
町田市	65,884	81,574	96,141	99,163	113,130	105,943	115,549	116,992
相模原市 ^{注2}	145,556	175,652	213,667	219,043	224,132	225,101	226,317	212,551
八王子市	115,638	139,029	169,547	169,281	198,951	187,974	197,074	191,713
立川市	60,279	71,352	84,637	81,033	82,015	79,440	88,823	84,823
多摩市	15,018	21,693	40,279	44,867	48,178	51,300	52,582	49,805
青梅市	33,437	40,015	49,644	47,313	51,182	49,637	52,929	50,869
川越市	79,053	97,384	113,763	113,716	120,699	111,962	120,838	116,856
熊谷市 ^{注3}	62,709	72,058	80,376	78,661	84,798	81,008	82,296	78,734
さいたま市 ^{注4}	276,497	321,483	390,532	402,621	441,162	410,504	420,439	397,334
春日部市 ^{注5}	39,673	51,521	62,174	62,796	67,669	62,868	63,299	59,170
越谷市	48,363	69,028	89,152	90,121	98,235	92,824	92,360	87,967
柏市 ^{注6}	70,514	84,441	109,363	112,562	118,472	114,270	118,335	111,637
土浦市 ^{注7}	55,708	62,365	71,873	70,458	76,157	70,366	71,585	67,581
つくば市 ^{注8}	27,874	41,797	55,948	60,029	71,494	70,302	73,968	73,709
牛久市 ^{注9}	7,280	9,285	13,351	15,084	17,283	17,871	19,973	21,624
成田市 ^{注10}	45,744	53,033	71,510	73,057	80,510	78,570	85,761	85,073
千葉市	236,162	266,306	327,908	347,328	364,175	332,173	350,984	326,411
木更津市	35,301	41,432	47,067	42,874	46,018	41,046	43,225	41,869

注：「1-5 業務核都市における人口の状況」の脚注を参照。

資料：「事業所・企業統計調査」（総務省）により国土交通省国土計画局作成

2 活力創出に資する機能の状況

●2-1 事務所・店舗等床面積の推移

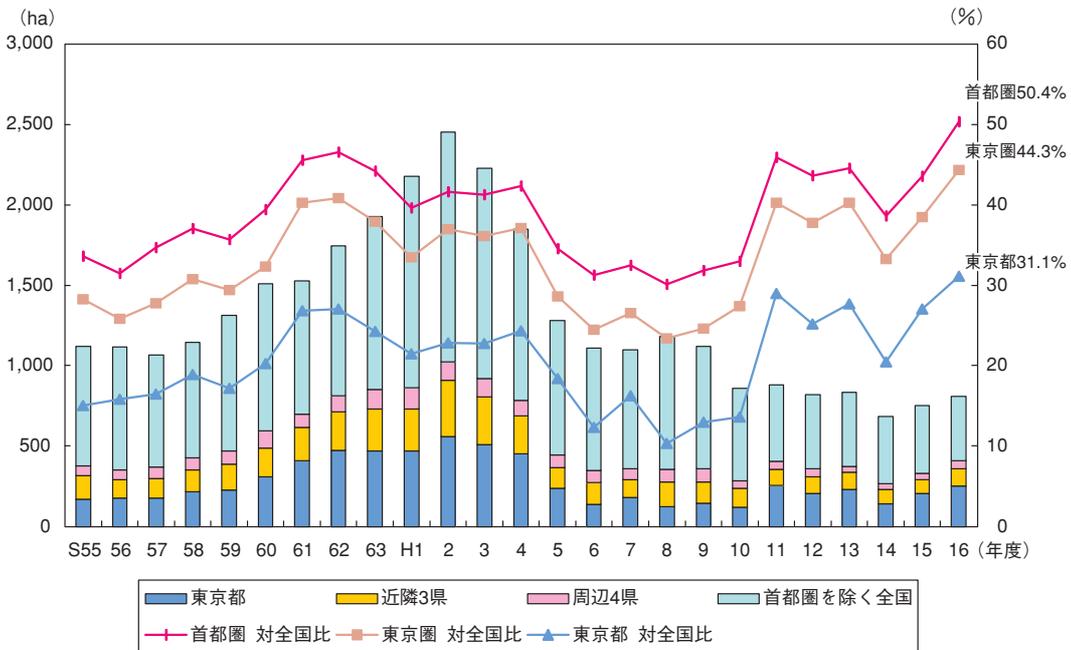


注1：事務所・店舗等とは、木造の事務所・銀行及び店舗並びに非木造の事務所・店舗・百貨店及び銀行を指す。

注2：折れ線グラフは、それぞれ対全国比を表す。

資料：「固定資産の価格等の概要調書」（総務省）により国土交通省国土計画局作成

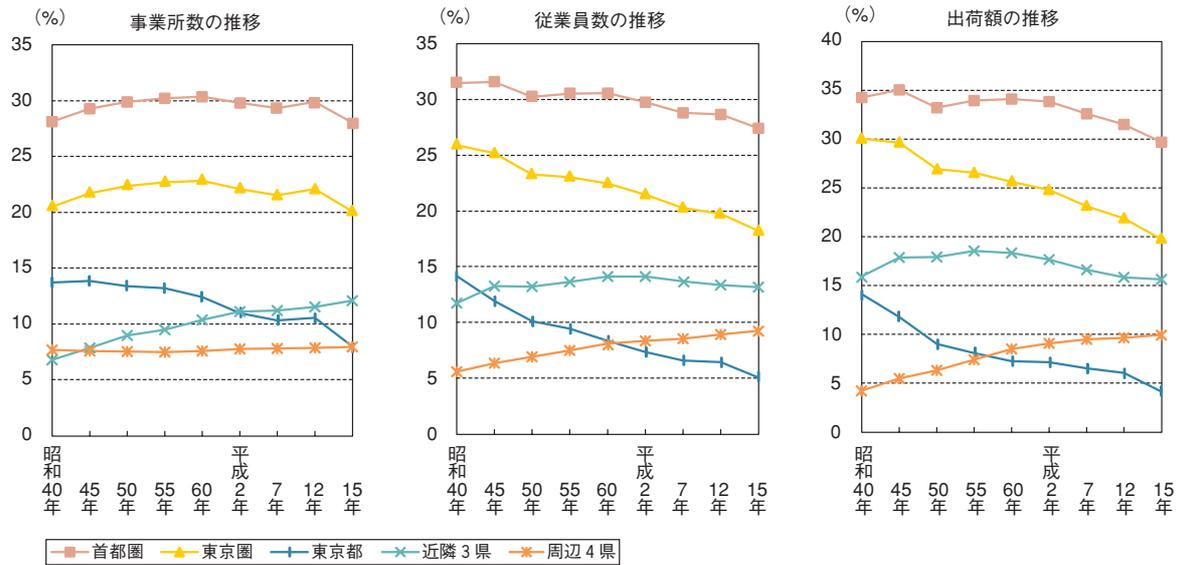
●2-2 事務所着工床面積の推移



注：折れ線グラフは、それぞれ対全国比を表す。

資料：「建築統計年報」（国土交通省）により国土交通省国土計画局作成

●2-3 製造業の対全国シェアの推移



●2-4 ソフト系IT産業の市町村別事業所数

	平成12年 9月	平成13年 9月	平成14年 9月	平成15年 9月	平成16年 9月	平成17年 9月
茨城県	536	567	578	590	584	579
水戸市	107	107	115	116	114	106
日立市	93	98	98	97	94	96
つくば市	78	87	85	83	85	89
ひたちなか市	54	60	62	66	67	65
土浦市	53	49	44	48	45	42
栃木県	276	308	308	324	315	328
宇都宮市	141	155	169	177	176	176
群馬県	465	477	477	451	445	446
前橋市	139	139	137	136	132	134
高崎市	133	133	133	130	121	125
太田市	50	52	46	44	47	43
埼玉県	886	906	902	920	917	920
さいたま市	242	263	262	258	261	262
浦和市	123	-	-	-	-	-
大宮市	119	-	-	-	-	-
与野市	15	-	-	-	-	-
川越市	55	60	56	56	57	60
川口市	62	57	56	60	53	53
千葉県	831	848	818	830	830	879
千葉市	192	199	192	190	201	210
船橋市	80	83	82	87	84	89
市川市	76	75	79	70	69	76
柏市	75	72	72	67	64	83
松戸市	68	69	60	67	67	68
東京都	10,266	10,870	10,621	10,871	10,796	10,980
23区	9,275	9,845	9,938	9,847	9,770	9,975
八王子市	144	149	153	134	141	132
府中市	108	112	107	105	95	86
立川市	102	105	114	112	113	113
町田市	91	91	101	98	96	96
武蔵野市	91	87	85	87	87	84
三鷹市	55	60	57	53	52	56
多摩市	53	60	66	62	62	61
神奈川県	2,088	2,176	1,772	2,157	2,181	2,247
横浜市	1,106	1,151	1,123	1,141	1,132	1,182
川崎市	382	387	389	394	395	390
相模原市	116	116	114	109	109	114
藤沢市	74	78	76	79	90	84
厚木市	69	76	70	70	72	75
山梨県	165	165	94	180	181	189
甲府市	83	86	94	92	91	92
首都圏計	15,513	16,317	16,399	16,323	16,249	16,568
全国計	33,778	35,769	36,106	35,828	35,957	36,669

注1：さいたま市の平成12年9月は浦和市・大宮市・与野市を合計したもの。
 注2：ソフト系IT産業はタウンページの業種分類において以下の3業種
 ソフトウェア業・情報処理サービス・インターネット関連サービス
 資料：NTTタウンページデータにより国土交通省国土計画局作成

●2-5 各都県における主要農業・林業・水産業部門のシェア等

主要農業部門のシェア等（平成16年）

	農業産出額 (億円)	全国順位	農業産出額部門別シェア (%)						耕地面積 (千ha)
			1位		2位		3位		
全 国	89,143		畜産	29.4	野菜	23.9	米	22.6	4,714
首都圏	17,373		野菜	36.8	畜産	25.3	米	19.7	663
千葉県	4,224	2	野菜	41.7	畜産	23.4	米	18.5	135
茨城県	4,203	3	野菜	37.5	畜産	23.9	米	23.1	178
栃木県	2,769	10	畜産	31.6	米	30.9	野菜	26.5	131
群馬県	2,281	15	畜産	39.8	野菜	36.4	米	9.4	79
埼玉県	1,968	19	野菜	42.7	米	24.3	畜産	16.2	85
山梨県	867	34	果実	61.5	野菜	13.1	畜産	9.3	26
神奈川県	761	36	野菜	48.8	畜産	24.7	果実	10.8	21
東京都	300	47	野菜	58.0	花き	17.3	畜産	7.3	8

資料：「生産農業所得統計」、「耕地及び作付面積統計」（農林水産省）により国土交通省国土計画局作成

主要林業部門のシェア等（平成16年）

	林業産出額 (千円)	全国順位	林業産出額主要部門別シェア (%)						森林面積 (千ha)
			1位		2位		3位		
全 国	43,741		木材生産	50.4	栽培きのこ類	47.2	薪炭生産	1.5	24,490
首都圏	3,921		栽培きのこ類	63.4	木材生産	34.5	薪炭生産	2.1	1,745
群馬県	1,256	11	栽培きのこ類	83.0	木材生産	16.2	薪炭生産	0.7	405
栃木県	1,088	13	栽培きのこ類	51.4	木材生産	47.7	薪炭生産	0.9	344
茨城県	787	19	栽培きのこ類	59.1	木材生産	38.0	薪炭生産	2.8	189
埼玉県	261	36	栽培きのこ類	60.9	木材生産	37.5	薪炭生産	1.5	123
千葉県	197	39	栽培きのこ類	57.4	木材生産	41.6	薪炭生産	1.5	163
山梨県	163	41	栽培きのこ類	46.6	木材生産	36.8	薪炭生産	16.6	348
神奈川県	95	44	木材生産	54.7	栽培きのこ類	38.9	薪炭生産	6.3	95
東京都	74	45	木材生産	54.1	栽培きのこ類	45.9	-	-	78

資料：「生産林業所得統計」、「2000年世界農林業センサス」（農林水産省）により国土交通省国土計画局作成

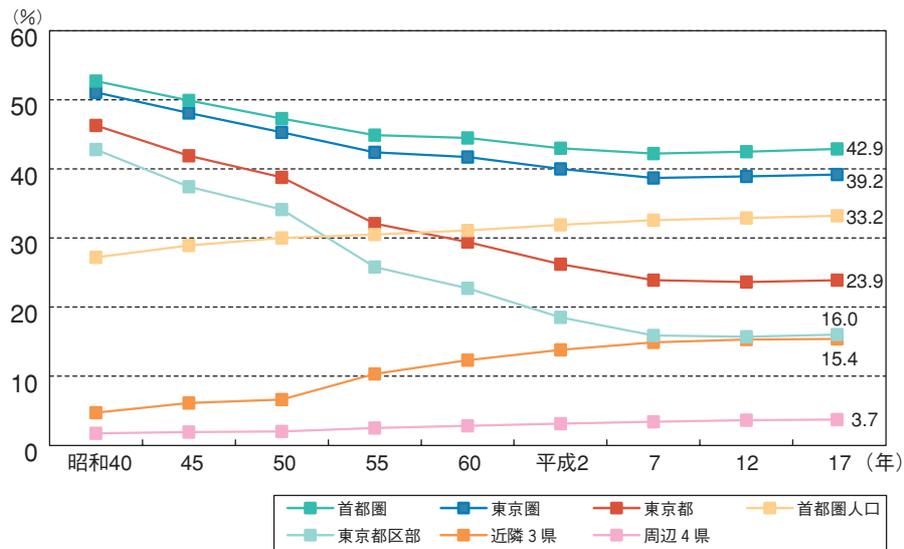
海面における主要水産業部門のシェア等（平成16年）

	漁業生産額 (海面漁業・養殖業) (億円)	全国順位	漁業生産額魚種別シェア (%)						生産量 (海面漁業・養殖業) (千t)
			海面漁業			海面養殖業			
			1位	2位	1位	2位	3位		
全 国	14,998		まぐろ類	14.7	いか類	9.7	海藻類	27.3	5,670
首都圏	940		まぐろ類	17.7	いわし類	14.7	海藻類	93.2	579
千葉県	352	14	いわし類	20.4	その他の魚類	18.9	海藻類	94.8	243
東京都	272	17	かつお類	38.0	まぐろ類	30.6	×	×	83
茨城県	153	28	いわし類	35.0	いか類	10.2	×	×	196
神奈川県	162	27	まぐろ類	38.3	いわし類	9.4	海藻類	96.5	57
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-

資料：「漁業・養殖業生産統計」（農林水産省）により国土交通省国土計画局作成

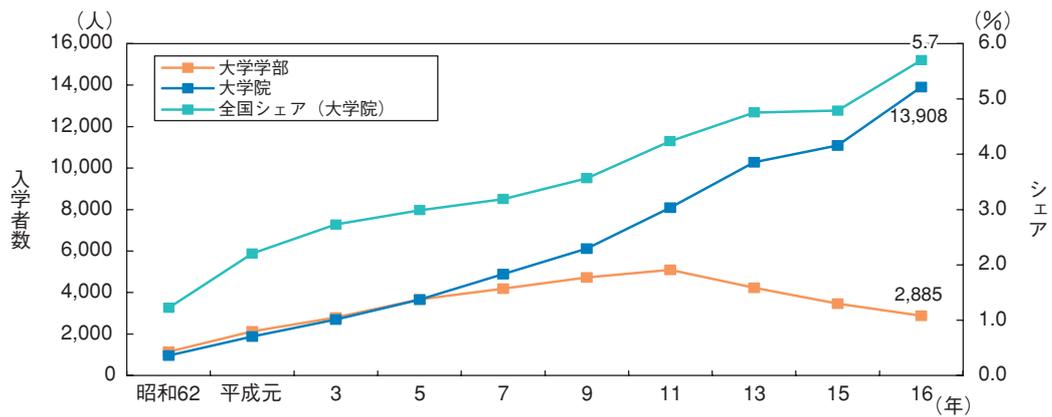
※東京都・茨城県における海面養殖業の魚種別生産額については、秘密保護上統計数値を公表していない。

●2-6 大学・短期大学・大学院学生数の対全国シェアの推移



注：地域区分は、在籍する学部、研究科、学科等の所在地による。
 資料：「学校基本調査」(文部科学省)、「平成17年国勢調査」(総務省)により国土交通省国土計画局作成

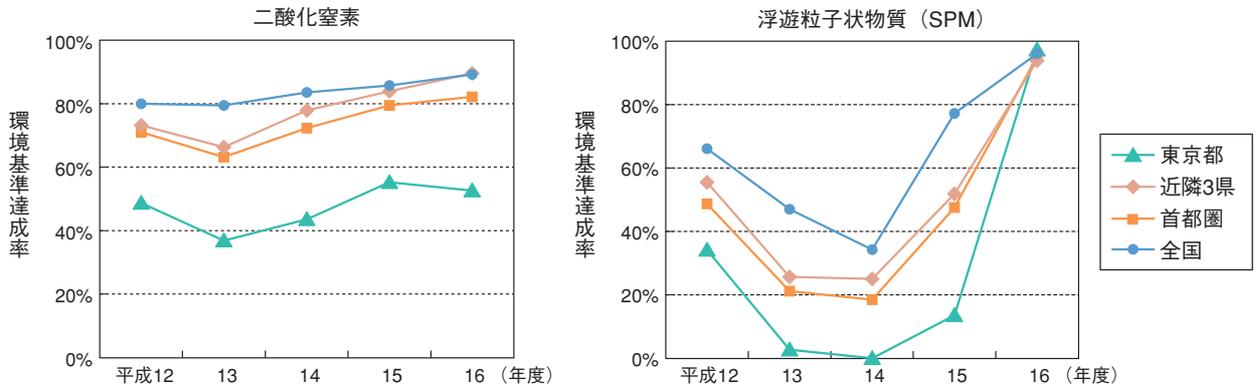
●2-7 社会人特別選抜による大学学部及び大学院への入学者



注：大学院は、修士課程、博士課程、専門職学位課程(平成15年4月創設)の社会人入学者数の合計値
 資料：文部科学省資料により国土交通省国土計画局作成

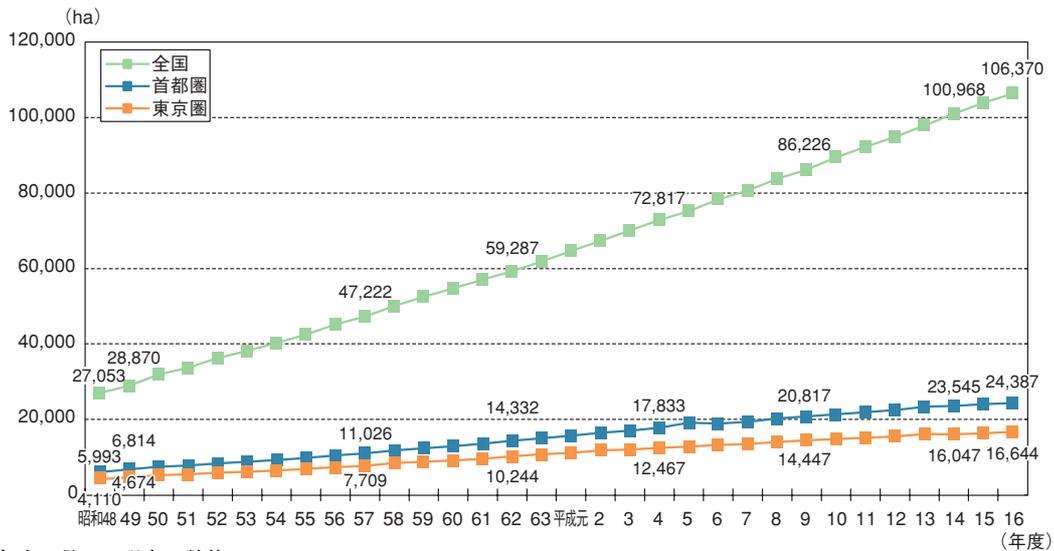
3 環境との共生

● 3-1 二酸化窒素及び浮遊粒子状物質（SPM）の環境基準達成状況（自動車排出ガス測定局）



資料：「大気汚染状況報告書」（環境省）により国土交通省国土計画局作成

● 3-2 都市公園開園面積の推移



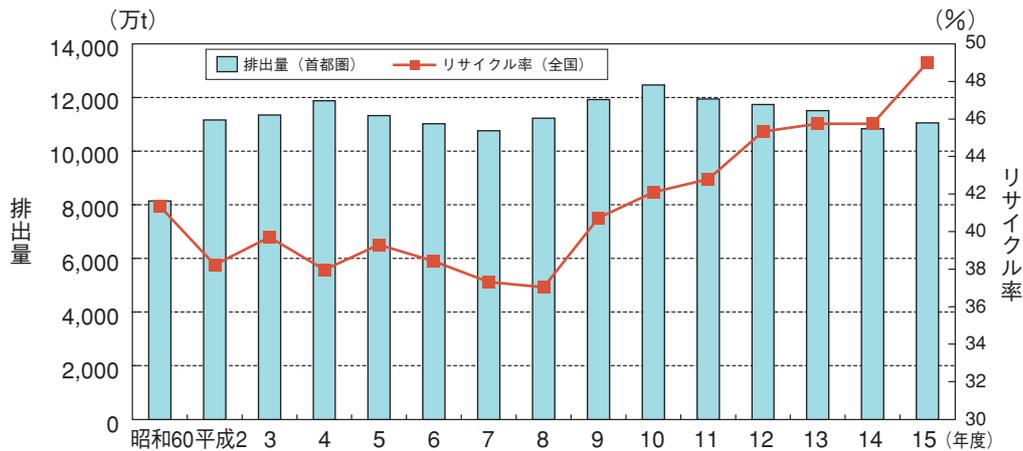
注：各年度3月31日現在の数値。
資料：国土交通省資料により国土交通省国土計画局作成

● 3-3 緑地保全関連制度の指定状況

	S61年度		H5年度		H16年度	
	地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)
特別緑地保全地区	22	143	47	281	105	453
近郊緑地保全区域	18	15,693	18	15,693	18	15,693
近郊緑地特別保全地区	8	653	8	655	9	759
歴史的風土保存区域	5	956	5	956	5	989
歴史的風土特別保全地区	9	266	13	571	13	574

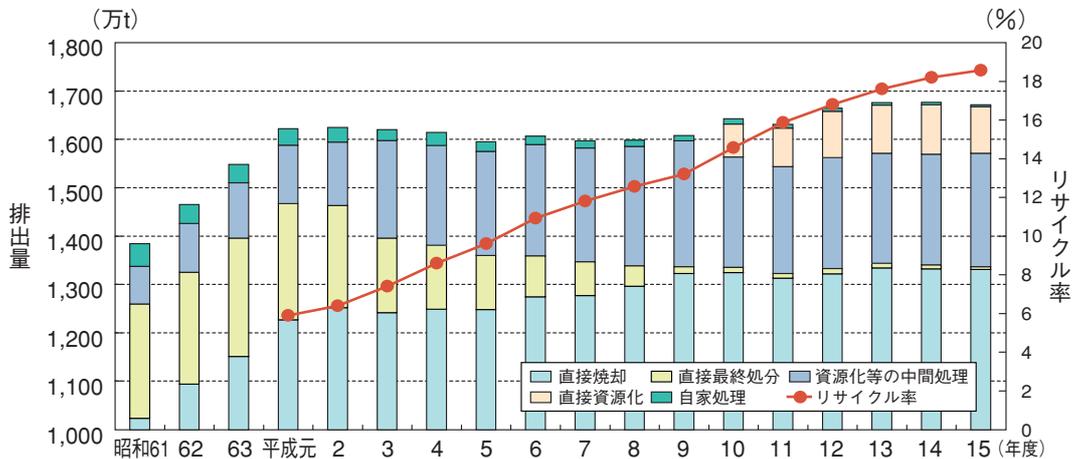
注：各種制度は、都市緑地法、首都圏近郊緑地保全法、古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法による。
特別緑地保全地区には近郊緑地特別保全地区を含まない。
資料：国土交通省資料により国土交通省国土計画局作成

●3-4 首都圏における産業廃棄物の排出量及び全国のリサイクル率の推移



資料：環境省資料により国土交通省国土計画局作成

●3-5 首都圏における一般廃棄物の処理方法別の排出量及びリサイクル率の推移



注1：処分方法別の処分量を元に作成している。

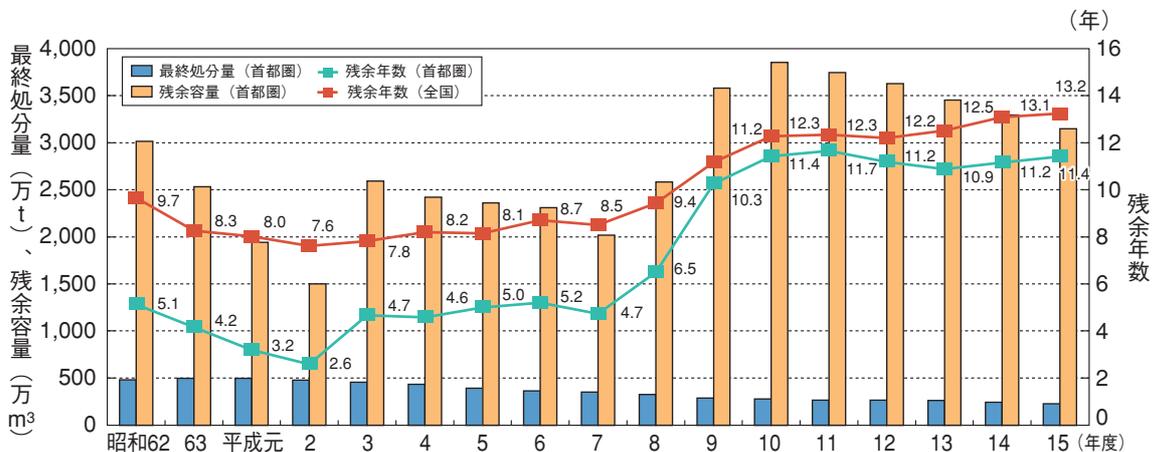
注2：「資源化等の中間処理」の処理方法は、高速堆肥化施設、粗大ごみ処理施設、資源化等を行う施設、ごみ燃料化施設及びその他における処理をいう。

注3：排出量には集団回収量は含まない。

注4：リサイクル率 = (中間処理後の再生利用量 + 直接資源化量 + 集団回収量) / (ごみ排出総量 + 集団回収量)。

資料：環境省資料により国土交通省国土計画局作成

●3-6 首都圏における一般廃棄物最終処分場の残余年数の推移

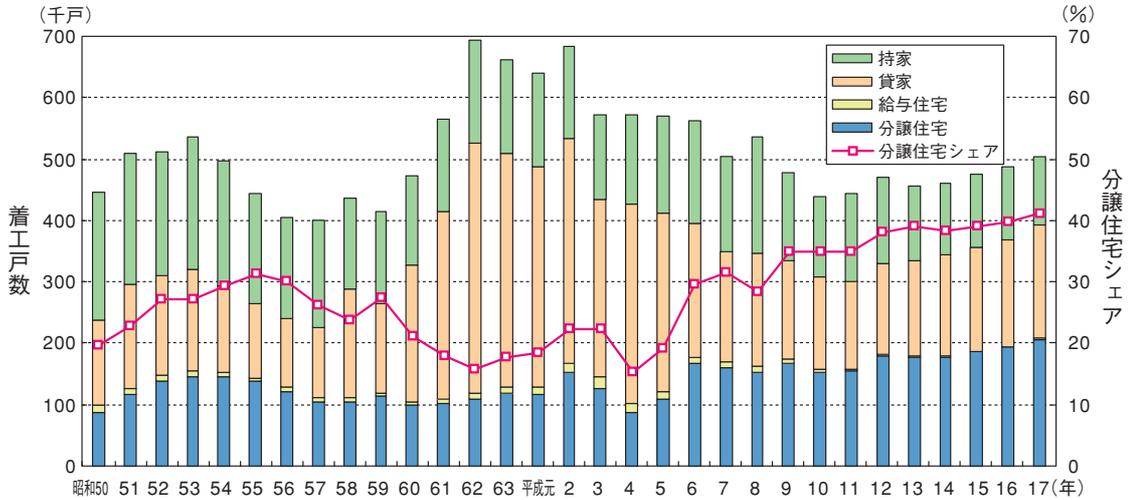


注：残余年数 = 当該年度の処分場残余容量 / (当該年度の最終処分量 / 埋立ごみ比重 (= 0.8163))。

資料：環境省資料により国土交通省国土計画局作成

4 快適な居住空間の整備

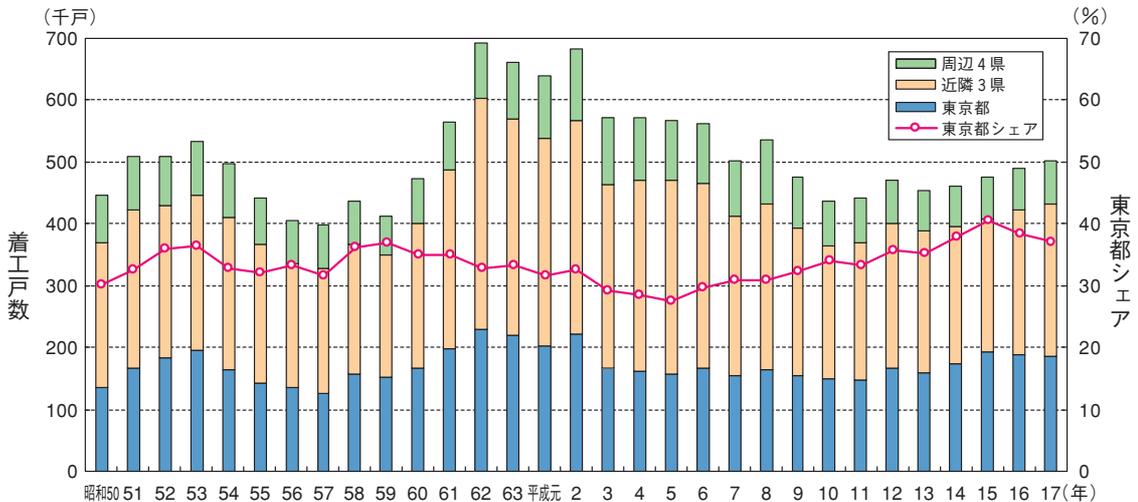
●4-1 首都圏の利用関係別の新設住宅着工戸数の推移



注：「持家」とは、建築主が自分で居住する目的で建築するもの。「貸家」とは、建築主が賃貸する目的で建築するもの。「給与住宅」とは、会社、官公署、学校等がその社員、職員、教員等を居住させる目的で建築するもの。「分譲住宅」とは、建て売り又は分譲の目的で建築するもの。

資料：「住宅着工統計」（国土交通省）により国土交通省国土計画局作成

●4-2 首都圏の地域別の新設住宅着工戸数の推移



資料：「住宅着工統計」（国土交通省）により国土交通省国土計画局作成

●4-3 最低居住水準未達の世帯の割合

全 国	関 東 大 都 市 圏			
	6.3	うち持ち家	うち借家	うち3～5人世帯
		1.8	12.7	
4.17				14.8

注：「最低居住水準」とは、住宅建設五箇年計画においてすべての世帯が確保すべき水準として位置付けられたもの。例えば4人世帯の場合で住戸専用面積50㎡である。「関東大都市圏」とは、東京特別区、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市（以下「中心市」）及び周辺市町村。「周辺市町村」とは、中心市への通勤通学者（15歳以上）の割合が当該市町村人口の1.5%以上でかつ中心市と接続している市町村等。

資料：「住宅・土地統計調査（H15）」（総務省）により国土交通省国土計画局作成

●5-1 首都圏における渋滞損失時間の推移

区分		モニタリング区間 渋滞損失時間(H15)	モニタリング区間 渋滞損失時間(H16)	対前年度比 (H16/H15)
単 位		万人時間/人	万人時間/人	
全 国		219,157	216,218	0.99
都 道 府 県	東 京 都	28,416 (1)	27,388 (1)	0.96 (25)
	神 奈 川 県	12,423 (4)	12,380 (4)	1.00 (17)
	千 葉 県	8,321 (8)	8,392 (9)	1.01 (12)
	埼 玉 県	9,952 (5)	9,888 (5)	0.99 (19)
	茨 城 県	4,816 (13)	4,322 (14)	0.90 (41)
	栃 木 県	2,595 (23)	2,408 (24)	0.93 (35)
	群 馬 県	3,459 (18)	2,779 (21)	0.80 (46)
	山 梨 県	1,931 (31)	1,926 (30)	1.00 (16)

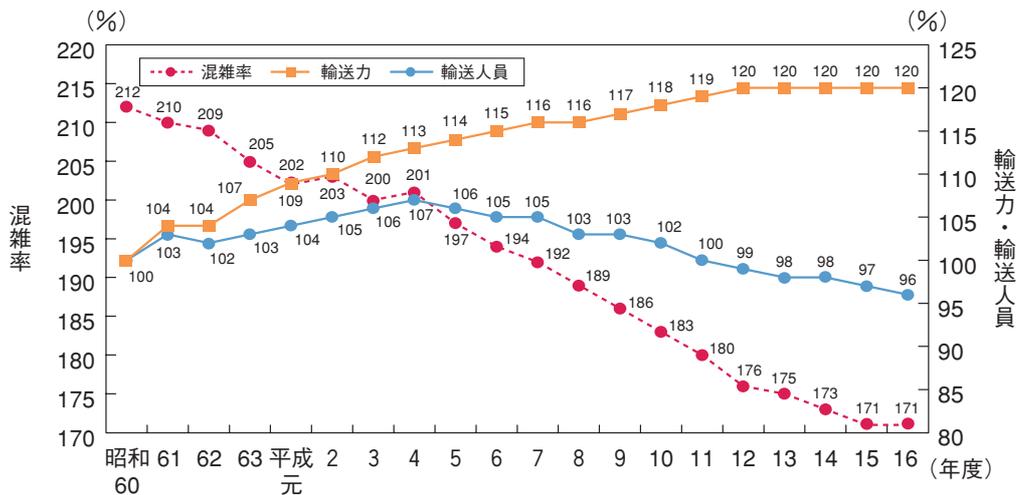
注1：「渋滞損失時間」とは、渋滞がない場合の所要時間と実際の所要時間の差を求めたもの。年間1万人時間の損失とは、1年間に1万人の人が各々1時間損失することを意味する。

注2：「モニタリング区間」とは、全国の一般都道府県道以上の道路の各区間について、1kmあたりの渋滞損失時間の高い順（平成15年度）に並べ、累積渋滞損失時間の上位6割の区間を抽出したもの。

注3：（ ）内は全国における順位。

資料：国土交通省資料により国土交通省国土計画局作成

●5-2 東京圏主要鉄道路線における混雑時の平均混雑率等の推移



注：輸送力、輸送人員は、昭和60年度を100とした伸び。

混雑率 = (輸送人員) ÷ (輸送力) (%)。

東京圏の主要なJR、地下鉄、大手民鉄路線（31路線）最混雑区間の平均値。

資料：国土交通省資料により国土交通省国土計画局作成

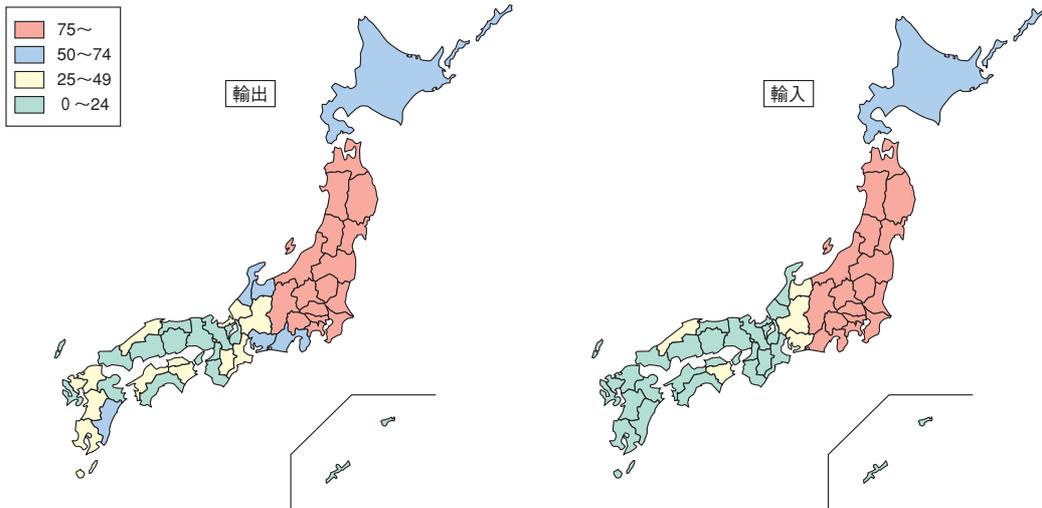
●5-3 首都圏と全国の貿易額の推移



資料：「外国貿易概況」(財)日本関税協会)により国土交通省国土計画局作成

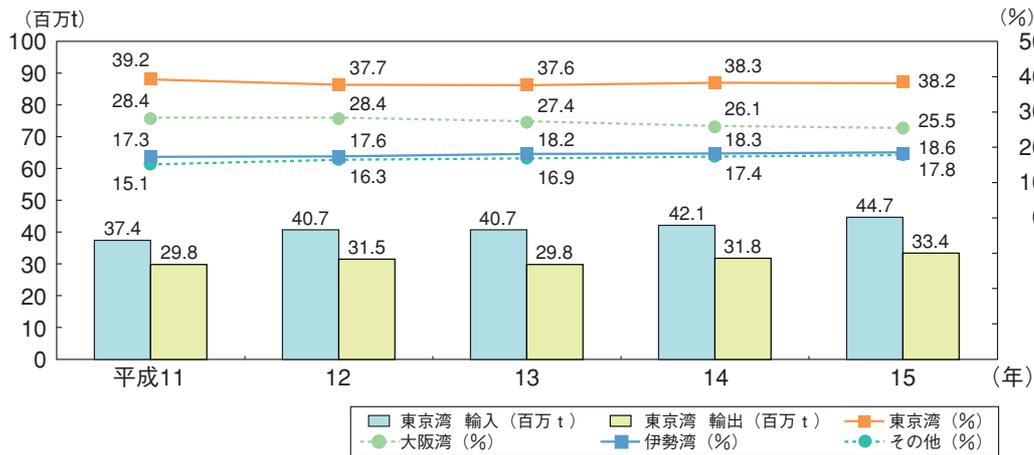
●5-4 成田国際空港の輸出入貨物の背後圏

各都道府県の輸出入航空貨物に占める成田空港のシェア(%)



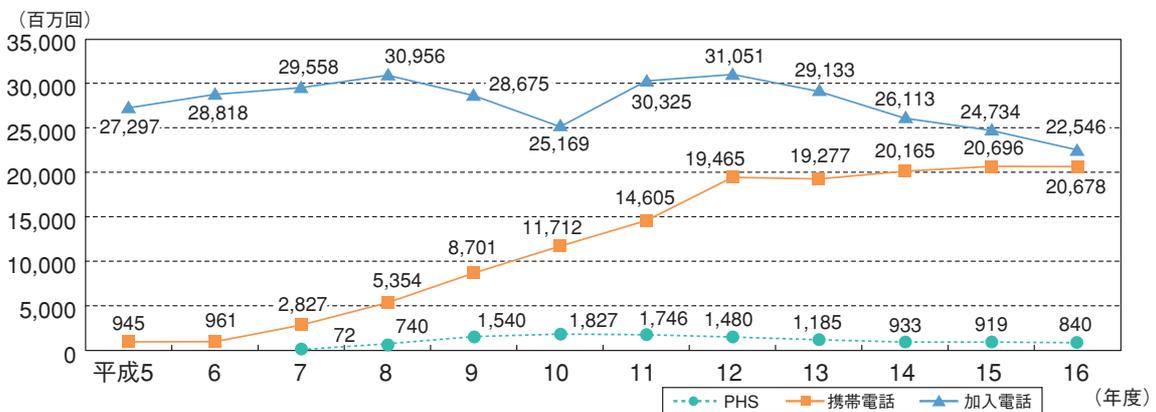
資料：「輸出入貨物に係る物流動向調査（平成16年9月）」（財務省関税局）により国土交通省国土計画局作成

●5-5 首都圏における外貿コンテナ取扱貨物量と三大湾のシェア



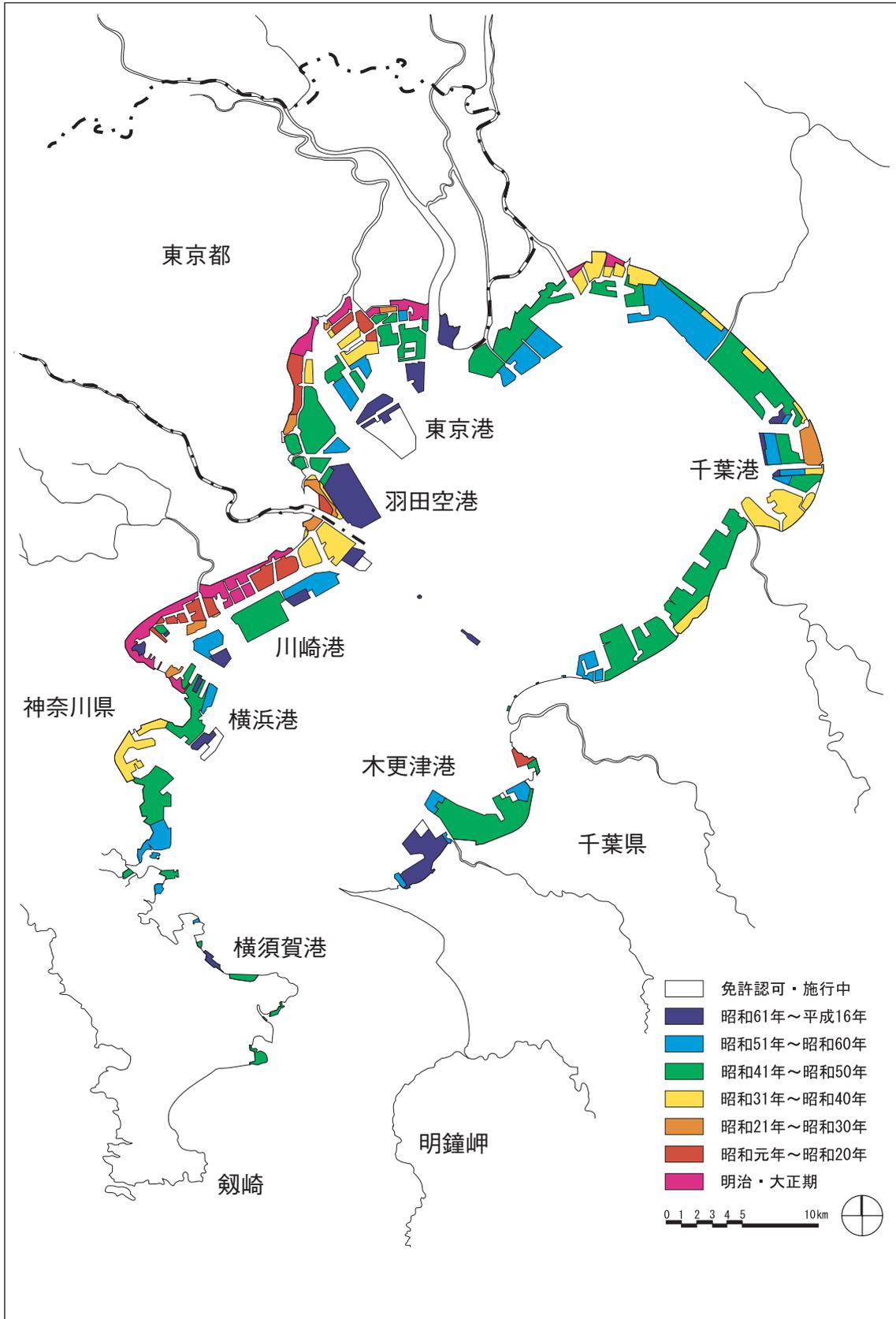
資料：「港湾統計（年報）」（国土交通省）により国土交通省国土計画局作成

●5-6 首都圏における各種電話の発信量



資料：「トラフィックからみた我が国の通信利用状況」（総務省）により国土交通省国土計画局作成

●5-7 東京湾岸地域の埋立の変遷



資料：国土交通省国土計画局調べ